

広報 ひがし しらかわ

1991
平成3年

8

No.365

発行 東白川村・編集企画課
岐阜県加茂郡東白川村神土
〒509-13 ☎05747-8-3111
印刷 下呂印刷株式会社

人口の動き

—7月末住民登録人口から—

世帯数	907世帯
人口	3,473人
転入	3人
転出	8人
出生	6人
死亡	6人

先月と比較して5人減
昨年同月と比較して
25人減

涼しさをお届けします！

“東白川の夏は涼しい！”
とは言ってもやはり夏、昼間は座っているだけでジドーンと汗が…

しかし、夏休みも最盛期を迎えた子供達にとっては、この暑さは、望むところ。

岩は自然の飛び込み台。しばらく見ていると最初恐がっている子も、みんなに応援されて、こわこわドボン。やり終えた後は、得意満面。みんなすくすく育ってます。



夏本番!

白川に 話題を追って……

子どもたちの夏休みもいよいよ後半へ入りましたが、夏の暑さはまだ当分の間は続きそうな気配です。この季節白川に足の向く機会も増えたことと思います。環境元年と言われる本年ですが、清流と呼ばれる白川は、ここ数年の間に非常に汚くなったという言葉をよく耳にするようになりました。そこで今月は、いつもとちよつと角度を変えてみて、わたしたちの清流白川のこを考えてみたいと思います。

私たちの生活と川

私たち人間が生活していくうえで川との関係は、切っても切れないものがあります。

これは、何も今から始まったことではありません。例えば、四大文明として知られている、エジプト文明、メソポタミア文明、黄河文明、インダス文明。この

いずれもが、大河川の流域に興った都市国家文明です。また、日本でも川は大変重要視されました。飲料水はもとより、農業には欠くことのできない水を得るための大切な調達先になるからです。私たちの先祖は、自然のあらゆるものに神さまがいてと考えました。ですから、日の光であるとか、川の水であるとか、そういったもの全てに神さまの恵みであると考えたのです。ちなみに水の神さまは、「弥都波能売神」と言うそうです。この神さまは、川添いなどに「水神さま」として祀られているものです。

川は、農業用水・飲料水のほかに、昔は、交通手段としても利用されたり、明治以後になると水力発電が行われるようになり、私たちの生活とのいつそう深いつながりを持つようになりました。

もちろん、東白川村も例に違わず、その地名の由来にまでなっている、白川が村の中央部を流れています。この白川を中心に、大明神川、佐広川、西洞川、曲坂川、柏本川などの一級河川の支流があり、これらの川に添って集落が形成されたわけです。このように、川は私たち人間との間にずっと昔から深いつながりを持ち、人間生活になくてはならないものなのです。

ここで水が生まれる

今、もし「白川の水を汲んで飲んで下さい。」と言われれば、みなさんは、ためらわずに飲むことができますか。

「源流まで行けば、必ず澄みきったおいしい水が飲めるはずだ。」そんな気持ちにかり立てられた、白川をこよなく愛する三人の男。今井房雄さん・栗本重秋さん・村雲陽司さんの源流を訪ねる小さな探検が行われたのです。

白川の誕生の地、つまり源流について旧村誌は、次のように伝えていきます。「白川は源を恵那郡加子母村に発し、本村の中央を横断し西白川村大字河岐

(現在の白川町河岐)にて飛騨川に入る(以下略)」

ほんとうにその通りだろうか?メンバーの一人栗本さんの熱っぽい話はこの疑問に答えられました。

「白川の源流は、三围山と小秀山の間にあります。役場前からの距離が二十四km。距離だけ聞けば、たいしたことないと思うでしょうが、その道のりの厳しいことといたら。

同行の今井房雄さんが、加子母中学で白川の源流へ遠足をした経験をお持ちでしたからまず、

今井さんを先頭に出発しました。順路は、国道から『乙女溪谷キャンプ場』へ向けて車を走らせ、キャンプ場からの国有林は



歩きになりました。

白川を源流へとたどって行くとき、下の方から順に一の谷、二の谷、本谷に分かれます。乙女溪谷キャンプ場のある場所は、ちょうど二の谷と本谷の分岐点になる所です。この三つの谷のうち本谷が、白川の源流となり

ます。

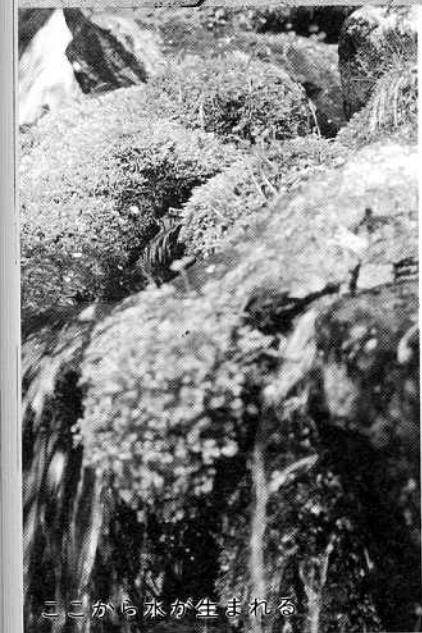
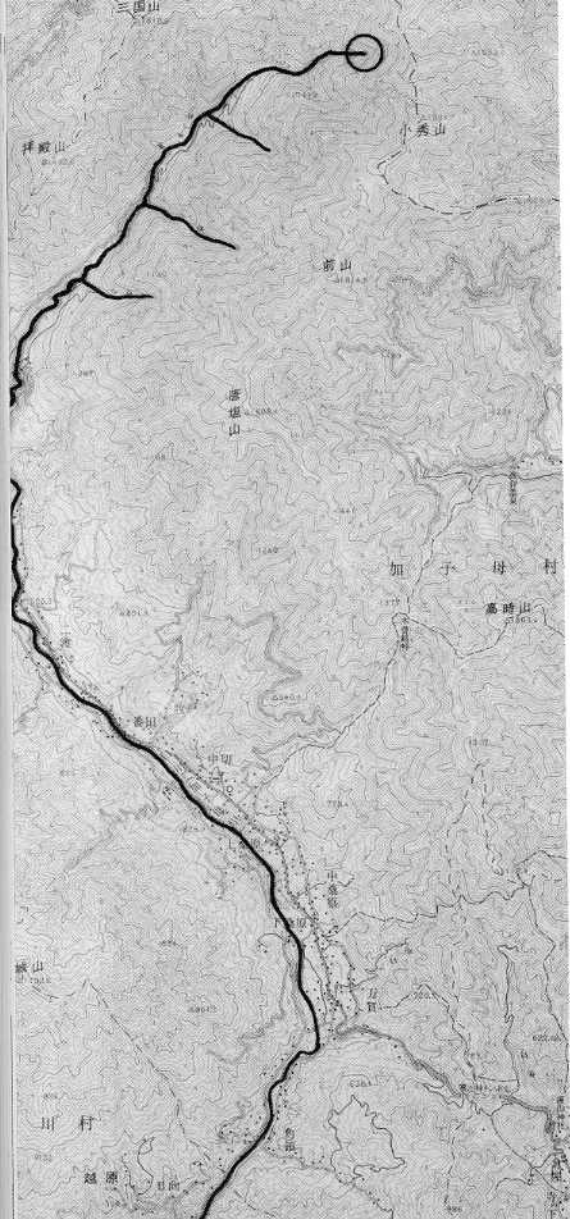
さて、二の谷から源流へ向けて出発し、タラの芽などが見られる林道を歩いて登っていくうち良かったですが、一時間も登ると林道は終点。その先は、原生林の密集地帯を谷づたいに道無き道をかき分けて進んで行きました。そのあたりまで行くともうタラの芽など村で見ることができそうな植物は、ほとんど見られませんが、伊勢湾台風のころ倒れたものか、樹齢何百年と言ったような大木が何本も根こそぎになっており改めて自然の偉大さを感じました。

谷づたいに登り続け、谷がだんだん細くなるにつれ、期待に胸は高鳴ります。二の谷から歩くこと約三時間。大きな岩と岩の間からこぼれ落ちるしずく、これが源流だ/岩には水こ

けが生い茂り、木々の間からさし込む日の光のせいキラキラ輝いて見えます。矢も楯もたまらず持参したコップでまず一杯汗をたっぷりかいた後だからでしょうか、いえ違います。生まれたてだからおいしいのです。源流は、私たちメンバーの期待を裏切ることなく、白川の名前のおり澄み切った清々しい水でした。」

全く混りものない透き通った源流の水、それから二十数キロ下った私達の村までの水の旅は、私たち人間の生活の汚れを受けとめて、「この頃の川はきたなくなつたなア」などと言われながら流れ続けています。

それは川の責任ではありません、川も三人の探検隊の感想のように「おいしい」水をいつでもどこでも飲んでもらいたいです……。(次ページへ)



ここから水が生まれる

川はボウダウララ下



白川をバンダにハイ、チーズ

小中学生が、待ちに待った夏休みに入った七月二十三日、この日は、「大暑」（二十四節氣の一つ）。その名のごとく日中は、三十度を超える大変な暑い一日となりました。子ども達にとっては、願ってもない水泳日和。そこで、水泳場へ行って次

のような川に対する簡単なアンケートを試みました。

- ①川遊び（水泳）は好きですか。
- ②プールと川ではどちらが好きですか。
- ③川のどのいうところが好きですか。
- ④川で水泳をしていたとき、もしゴミや空缶が落ちていたらどうしますか。
- ⑤その他、川に対する意見。

アンケートに答えてくれた子は、立岩湖（大沢）十八名・滝の淵（日向）七名・東湖（平）十五名。小学生、中学生合わせて四十名でした。その結果、①の答えはなんと全員が、川が好きで、またプールよりも川の方が好きとのことでした。

③の質問の答として最も多かった意見は、「流れがあるから、深いから（飛び込みができる）」というものでした。また、「魚を見ることがができる」とか、「自由に泳ぐことができる」といったものや、変わったところでは、

川は生きている

まるで龍宮城

白川の源流を訪ねられた今井房雄さんは、子供の頃から白川を見てこられました。白川について、いろいろな話を聞かせて下さいました。

水中眼鏡を使用して

始めて白川の中に潜ったのが五、六歳の頃だそうですから昭和十年頃、始めて見る水中の世界は、話聞く浦島太郎の龍宮城の世界のように水が澄み渡り、たくさんの魚が泳いでいたそうです。

「今の白川は、魚が本当に減ってきた。昔は、白川ならどこに行っても見られた魚が、今は特定の場所にしかない」と語られました。中央の写真は、平成元年に今井さんが、白

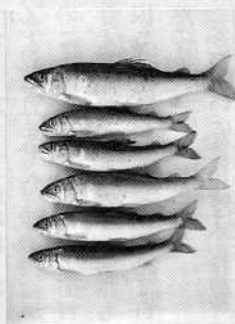
川で釣ったアユです。からだ全体に黒い斑点が見られます。

この年のアユは、こういう形状のものがたくさんあったそうです。これは、工事等によって水が汚れ、それが濁水期と重なって水がよどみ、アユのエサであ

るケイ草が溜まった泥のため腐ってしまいました。

アユが、それを食べたため斑点ができたのではないかと今井さんは、見えています。

また、白川で全くと言っていいほど見られなくなった魚として、ムギナ（シマドジョウ）・クロウ（ネコギギ）・アカ（アカザ）・マタイチ（カジカ）・オオカワザッコ（ヨシノボリ）・ドウゼン（カマツカ）などを挙げてくださいました。これらの魚は、特に水のよどみ等に弱いようです。



川にやさしい付き合いを

川の流れば、大きく三つの作用に分かれます。上流から順に浸食・運搬・堆積の作用です。

今井さんは、「川は、流れがあるから川なんです。流れが無ければ川ではありません」とおっしゃっていましたが、これは当たり前のように大変意味のある言葉です。

川の汚れは、三つの作用によって下流へと流されていくわけです。私たちの上流の川から汚れを流せば、下流の人たちの迷惑となっているのです。

昔の人は、川とのやさしい付き合い方をしたそうです。例えば、「タマヤ」という浄化施設、これは、勝手口の外に井戸舟を置き鯉を飼い、排水をそこで一旦浄化するもので、野菜くずなど鯉のエサとなる一石二鳥の浄化法です。また、河川工事でもコンクリートを使わず「沈床」と呼ばれる松の丸太を使ったものや「蛇籠」と呼ばれる針金を使った工法などが、あったそうです。昔の人たちは、川や魚たちと実に上手に付き合ったものです。

「川のきれいさは、水棲昆虫の有無によって判定できます。」とおっしゃる今井さん、今の願いは、この白川の美しさを、今の子供たちにわかってもらい、守ってもらふことなのです。



今井房雄さん

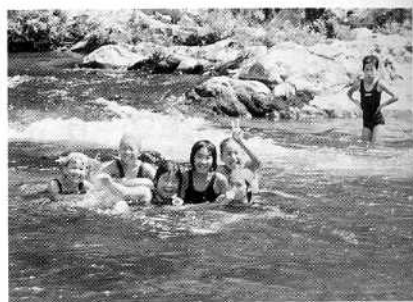
「目が痛くない」といった答も出してくれました。

今年(懶)ふるさと企画を通してキャンプや、ふるさと体験などで村を訪れ、鱒つかみや川遊びなどで楽しんでる子供達に同じような質問をしてみたところ川よりもプールが好きな子の方が多く、川が嫌いな理由として「流れが早い、すべる」との答が返ってきました。プールに慣れた子供達にとっては、川に対する恐怖心はかなり強くあるよ

うです。

白川に生まれ育った子供達は、①から③の質問の結果でもわかるように川が大好きなのですが、④の質問で「ゴミを拾ってきちんと処理できる」と答えてくれた子は、残念ながら半数にも満たない数でした。

川に対して出してもらった意見を聞いてみたところ、中学生になると「川が汚れてきた」と答えてくれた子供達がありました。が、全体的にはこうした意見



は少なかつたようです。

「白川が大好き」という子供達ですが、川は最高の遊び場で

小中学生「鮎つり教室」大奮闘

「未来の白川を守っていくのは現在の子供達。白川を愛する心が子供達に芽生れば川は自然に守られていく。子供達に少しでも川に親しんでもらい川を好きになつてもらえれば。」この八月四日に商工会青年部地域振興委員会が中心となつて「鮎つり教室」が開講されました。

参加した子供達は、全員で九名。皆、様にお父さんよりうまくなつてやろうノと息込んで参加。三名の中学生と六名の小学生、そのうち未経験者は僅かに二

人。さすがに東白川っ子といった感じがします。

さて、教室の方ですが午前中は、「仕掛づくり」を中心とした講義。「鮎かけは、まず準備から」の言葉を受け、普段の授業よりも熱心(?) 話に耳を傾けていたのが印象的でした。

また、午後からは待ちに待った実技。神戸保育園前の白川に各自作つた仕掛を開始。指導にあつた商工会青年部スタッフからのマンツーマン指導を受け三時四十五分終了までに多いいで六匹釣つた子もありました。

あつて、川の美しさを愛でそれを守りたいという気持ちは、芽生えていないのかもしれない。このアンケートに答えてくれた子供達のうち何人の子が、将来も村に残つて生活するのか全くわかりません。しかし、「川遊びが好きですか」と質問をしたとき、元気一杯「好きです」と答えてくれた子供達。きつと

自分達の子供にも楽しい川遊びをさせてあげたいと思うことでしょう。

「昔の白川は、美しかった」永い年月を経て今の状態になつた白川を昔のように還すことは不可能かもしれませんが、しかし、今の美しさを子供達に伝えていくことは、できるのです。

快挙ノ安江政辰さん(平)が七月二十三、二十四日の二日に亘つて宮崎県五ヶ瀬川で行われた「'91ダイワ鮎マスターズ」全国決勝大会で堂々の二位になりました。

全国からの参加者が、二千余名を数え、長良川で行われた県予戦、馬瀬川で行われた西日本ブロック予戦の激戦を勝ち抜いて全国決勝大会に進めるのは、全国で僅か八名。その八名にシード選手、招待選手などを含め十六人で争われる決勝大会。しかもベスト4の中で地区からの



大会の様子はテレビでも放映

強豪相手に堂々の第二位

勝ち抜きは安江さん唯一人。その中で見事二位に入賞されました。白川の鮎愛好家にとつてはまさに朗報です。

この企画は大成功。きつと明日から川通いが始まるでしょう。



マンツーマンの指導は厳しい

血液検査結果と

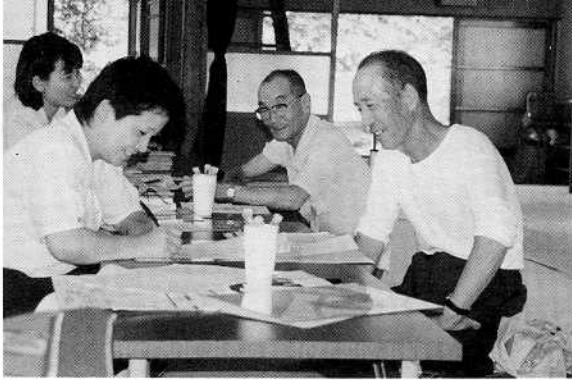
成人病



三十歳までは、人生で最も健康に恵まれる時期だそうです。しかし、三十歳を過ぎてからも同じように健康でいられるかどうか保証はありません。

今年も成人病検診が、六月十九日から六月二十六日にかけて村内十五会場で行われました。また、それに先だって五月七日から四日間にわたって血液検査が実施されました。

今月は、血液検査の結果を中心に成人病と血液との深いつながりにスポットを当ててみました。



年に1度の健康チェック

三人に二人が成人病で

現在日本人の死因の三分の二が成人病によるものと言われていいます。この内がん、心臓病、脳卒中は三大成人病と言われ日本人の六割がこれらの病気によって命を落としています。

昭和四十五年から調べられている村の死因の調査でもやはり同じ傾向にあります。

村では成人病予防検診に先立ち、血液検査を実施しています。血液は、健康のパロメーターです。血液検査は、より多くのデータを集めて現在の状態

をより詳しく分析し、今後の健康管理をどうデザインしていくかを判断する大切な検査です。

本年度血液検査を受診した人は、千四百人。左のページのグラフは、検診を受けた人の結果を示したものです。自分が、どの位置にいるのか、検査結果を見ながら確かめてみて下さい。

グラフの要医療・再検査・要指導に該当する人は、各個人の血液検査結果票にそれぞれオレンジ・ピンク・グリーンで色分けしてあります。

自分の健康は自分で守る

村で実施した血液検査ではその成分から貧血・脂質・肝機能の三種類が判断されます。

血液が薄い状態を示す貧血。男性は五十歳代から女性は四十歳代からその傾向は強く、女性の場合は、閉経と共に改善され

おしらせ

村営住宅

入居者募集

平成二年度事業で建設した、村営住宅のうち入居者の決定していない一戸について、次の要領で第三次入居者募集を行います。

〔募集戸数〕 一戸

〔所在地〕 五加柏本地内 木曾渡住宅

〔構造等〕 木造平家建瓦葺 3LDK

〔家賃〕 月額二万七千円 他浄化槽等共益費

〔入居資格〕 村内に住所のある人、または勤めている人で収入基準に適合する人。

〔申し込み期限〕

平成三年九月十三日（金）

〔入居予定日〕

平成三年十月一日（火）

※申し込み多数の場合は、選考基準により選考し、その後抽選で決定します。詳しくは、役場

進んで受けよう

結核検診

平成三年度の結核レントゲン検診を、九月三日から五日までの三日間にわたり、村内十七会場で行います。

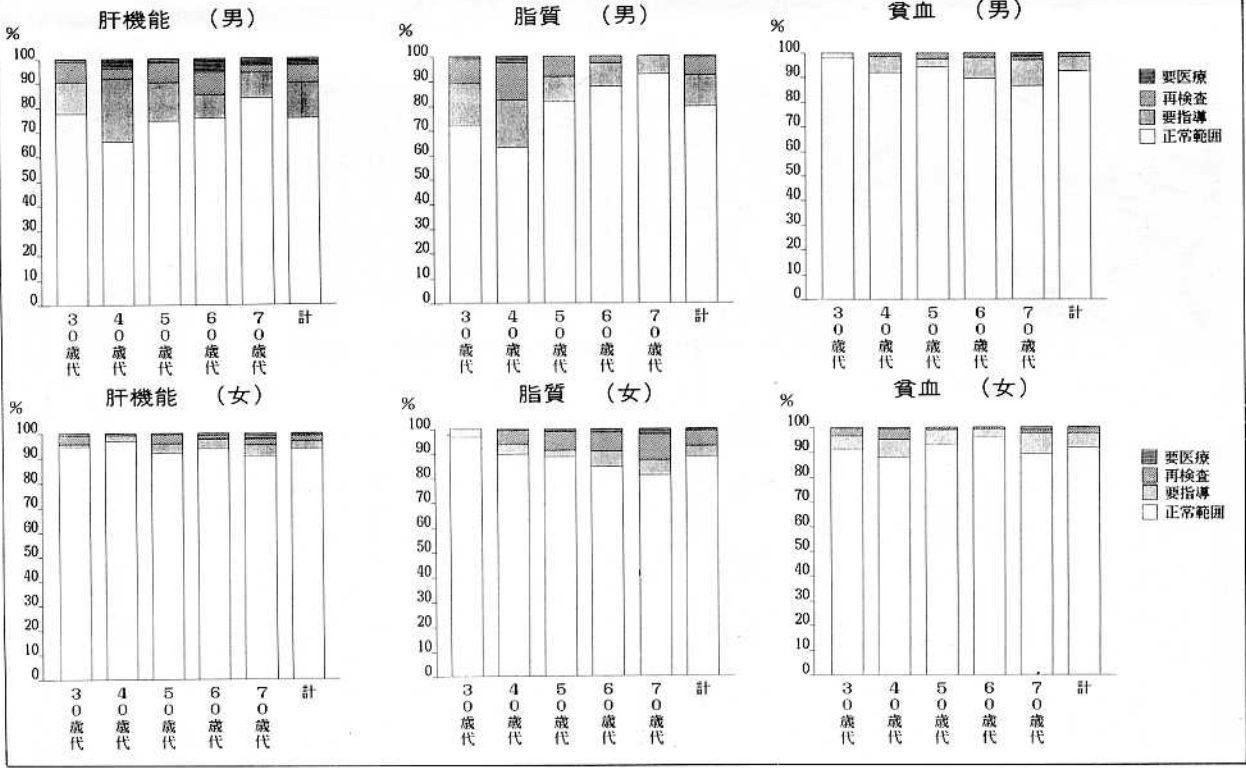
この検診は、結核予防法によって義務づけられているもので満十六歳以上の住民が全員対象となります。ただし、職場・学校・病院等で受診された場合は除きます。

検診に当たっては、あらかじめ検査日程と注意事項を記載した受診票を集落の保健婦人部員を通じて各戸に配布しますので、必ず受診票を持って検査を受けてください。なお、現在入院または治療中、妊娠中であつたり、寝たきり、不在等の理由で受診できない場合は、受診票の表にその理由を書いて役場保健係へ

土木係までお問い合わせ下さい。

（有線二二七一）





ますが高齢になり食物摂取量が減ると再びその傾向があらわれ、また、四十歳代の貧血には子宮筋腫がひそんでいる可能性もあります。しかし、五年前の検診とみると貧血傾向は、かなり改善されています。

中性脂肪や、コレステロールから判断をする脂質は、男性は四十歳代で異常者が最も多く高齢になると減る傾向ですが、四十歳代で要医療の人は、心臓病の恐れがあります。女性は逆に年齢に伴って正常範囲が減っており動脈硬化が心配されます。

男女差が、かなりはっきりあらわれるのが肝機能です。四十歳代の男性では、正常範囲の人が六十七%です。肝臓病は、治療に時間のかかる病気です。今後増々異常者が増える恐れがあります。また、地区別に見てみると五加地区で最も治療者が多い結果となりました。

自覚症状が少ない成人病の早期発見には、こうした血液検査をはじめとする、定期的な健康診断が、大きな効果を発揮します。「自分の健康は自分で守る」ためにも、こうした診断を積極的に受け、健康状態を把握することが大切です。

図書コーナー

遠藤 周 著

逆 (上) (下)

逆

逆

頭脳明晰な信長は部下の人柄を把握し、政策に利用する。しかし一度逆った者は決して許さない、という冷酷で横暴なやり方に目を見張られた。反逆者の妻子が受けた残酷な行為を知り戦国時代に生きた女、子供の哀さに想を深めた一冊であった。(推せん人 73歳・女性)

提出して下さい。

火葬場の使用 申し込みについて

現在、加子母村火葬場及び白川町火葬場の使用については、東白川村役場を通じて申し込みることとなっています。

親族の方等が亡くなられ火葬にされる場合、火葬場の使用については必ず、東白川村役場民生課住民窓口を通じて申し込みますよう、お願い致します。

個人で直接、加子母村役場及び白川町役場へ申し込み事はご遠慮下さい。

岐阜県民手帳 予約募集

県民の皆さんに親しまれている「岐阜県民手帳」の平成四年版が、発行されます。

県勢、市町村勢が一目でわかる最新の数値を掲載した各種統計資料、日常生活に役立つ事項などを収録した便利な手帳です。

(サイズ) 16・9 cm × 9・1 cm (色) 四色 (紺・エンジ・グレイ・緑)

(価格) 四百円 (申込期限) 八月三十一日

※詳細は、役場企画課まで。

体験

夏を満喫ふるさと体験

「竹とんぼなんて始めてです。」とお子さんから道具を取り上げ



本当に飛ぶのかな

悪戦苦闘しているご両親。

去る七月二十八日「ゆう遊体 駿わらじ、竹とんぼ教室」がふるさと会員を対象に行われました。参加家族は、名古屋市の永谷さん御一家を含め三家族十四人。パーベキューや鯖つかみなどもあり夏休みの一日を満喫。「白川の良さをわかってもらい広く伝えて欲しい」と主催の(株)ふるさと企画も大奮闘でした。

大会

白球に追われる児童 追う児童

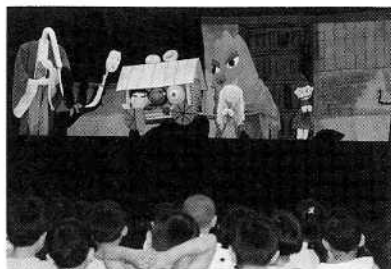


「カキーン」打球のゆくえは？

夏と言えば、高校野球を連想される方も多いかと思いますが、小学生の甲子園は、何と云っても「子供会親善ソフトボール大会」。今年も去る七月二十八日小学校々庭で行われました。今回で二十回を数える伝統ある大会に八チームが参加。日頃の練習の成果か熱戦に次ぐ熱戦。父兄の応援にも思わず力が。優勝は平・大口チームでした。

人形

素敵なお贈り物に大喜び



次から次へとおばけが登場

おなじみになった名古屋女子短期大学児童文化研究部「かけっこ」のおねえさんたちから今年も人形劇の贈り物。

村内三ヶ所で上演された人形劇、今回の出しものは、「おばけのひっこし」 「おばけ怖い」と言いながらも、次から次へ登場するユニークなキャラクターに子供達は、大喜びでした。

来日

アンドリューがやってきた

「ワタシノナマエハ、ガベージ・アンドリユー・カルデアーデス。ドウゾヨロシク」

この八月よりAET(アシス



身長 185cm

「想像よりも田舎じゃなかった」と第一印象を語る青い眼の好青年です。

「タント・イングリッシュユニティーチャー」としてアメリカからやってきた通称「アンドリユーさん」加子母村と合同で小中学校の英語課指導手をされます。来日は、初めてですが、みそ汁が好きなど日本通とか。

■戸籍の窓―敬称略(七月)

誕生おめでとうございます

(神付) 村雲史朗 友貴

京子 (長女)

(日向) 安江章吉 大樹

友美 (二男)

(久須見) 古田晃裕 ひろ

かほる (長女)

(平) 安江任弘 竜一

法美 (長男)

(陰地) 田口喜一 沙帆

聡子 (長女)

(上親田) 安江昭久 陽子

右京 (長男)

いつまでもおしあわせに

(桂川) 一喜(陰地)

(鈴村のぞみ(白川町)

おくやみ申し上げます

栗本 喜三 72歳(柏本)

松岡 政夫 84歳(陰地)

服田 孝彦 53歳(平)

桂川 むで 95歳(日向)

安江 はる 82歳(日向)

今井 匡 63歳(大口)

■善意の寄付―敬称略

(社会福祉施設整備指定寄付金)

現金十万円―服田茂久(平)

現金十万円―桂川文雄(日向)

珍品

暑さボケ、かと思ったら



類似品に注意

「上親田の安江桂さんの山で松茸の初物が採れました：？今年なら時価いくらでしょう。」
 気の早い松茸が、夏の暑さのせいで、季節を間違えてしまったか。実は、これは松茸ならぬ松のかぶ。大きさといい、形といい、色あいといい、まさに本物そっくり。
 今年は、もしかすると松茸大豊作の年になるかもしれません。

交流

一目会ったその日から：

「ラブストーリーは突然に？」
 社会福祉協議会が中心となって



バーベキューは和気愛愛！

昨年度から行なっている独身男女の出逢いの場「青年フォーラム」今回は、七月二十八日大正河原キャンプ場にてキャンプとなりました。
 白川町・東白川村からの参加者は合計七十名を数え、鱒つかみ、バーベキュー、ファイヤー等内容も盛りだくさんで、大盛況となりました。この中で素敵なカップルの誕生も間近です。

祭り

天のいたずら、雨中盆踊り



それでも踊りの輪は…

その名も「お盆フェスティバル」今年で三回目を迎えた中谷、西洞、加舎尾主催による盆踊り大会。今回から大口集落も加わり、四集落合同主催となりました。ところが、この日八月一日は、暑い日ではあったもののあいにくの曇がち、夜まで我慢した空も、八時を過ぎた頃から号泣。それでも集まった皆さんは、例年どおりの焼き肉食べ放題、ビール飲み放題の内容に一言の文句も出なかったとか…。

視察

杉の村から松の村へ視察に：



一行はプレカット工場も見学

「活力ある豊かな村づくりの参考」に。七月十五日、奈良県東吉野村から十九名の視察団一行が来村。この東吉野村は、人口が約四千人余り、吉野杉で有名な山村です。ここ数年、過疎化が進みその歯止めにと全額村が出資した㈱東吉野村総合開発公社を設立。
 両町村の間で活性化に関する熱心な意見交換がなされました。

〔社会福祉協議会へ〕

現金十万円 栗本義和（柏本）

現金五万円 栗本保彦（平）

現金二万五千七百九十三円 蔵ちゃん杯鮎かけ大会参加者一同

一同

【東白川村茶業振興会から】

飲み茶 三十kg 東白川小学校

二十kg 神土保育園 十五kg 越原保育園 十kg 五加保育園

〔神土保育園へ〕

鯉の稚魚 今井悟（神付）

〔五加保育園へ〕

わらざり三十五足 伊藤富郎（宮代）

砂場用砂 安江建材（柏本）

■工事入札の結果

①は入札期日 ②は落札金額

および落札業者

▼百年道路後山内法面吹付

〔ん〕

①六月二十八日 ②千二百七十七万二千円、東興建設㈱

〔は〕

▼越原除地面工事

〔じ〕

①七月八日 ②五百八十六万円、㈱マルト土木

〔い〕

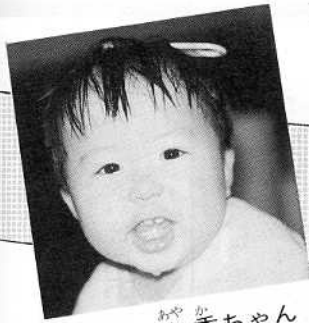
▼越原曲坂二号橋

〔け〕

①七月八日 ②二千三百六十九万円、㈱マルト土木

▼神土後山百年道路

①七月八日 ②三千四百八十一万四千円、山田土建㈱



▲早瀬文香ちゃん

(尚史さん・美知子さん二女＝神付)



◀頼頼信二くん

(英雄さん・純子さん二男＝柏本)



ふれあい広場

新婚さん♡

■ワン・ショット■



「平の町からどろんどろん山へ登って、行って、本当にこんな所にかがあるのか不安

あたりだったとか。現在も福岡町で保健婦という大切な仕事を続けている千穂美さん。朝は、七時三十分には家を出るとのことですが、細い路地には四苦八苦したそうです。また、保健婦の立場として安範さんの減煙にあの手、この手の作戦を計画中だとか。お子さんは、「健康な子供なら何人でも」と保健婦さんらしいお答え。爽やかな印象を受けるカップルです。

この写真は引きのばしてお二人に進呈します。

ふるもものぼ

30

☆跳ね回る動詞 ③

前々回に引き続き「行く」を中心に動詞の跳ね回る姿を探ります。

【いきともない】行きたくないの意。「今日は学校へ行きたくない」のように暗い気持ちのときに用いる表現です。

【いきないた】行きなされたという意で、女性が多く用いる表現です。対象者を尊敬した親しみのある言葉です。「行く」という行為が終わったことを意味します。

【いきないよ】行きなさいよという意で、これも女性が多く用いる優しい言葉です。

【いきなれなんだ】行きなさらなかった、行かれなかった、という意で、「雪や降ったで山行きなれなんだ」など和使用温かみのあるへり下った表現で、やはり女性が多く用います。

【いきなれる】行きなされる、行きなさいますの意。これも女性が多く用いて、優しい響きの

ある言葉です。相手を尊敬する心がこもっています。

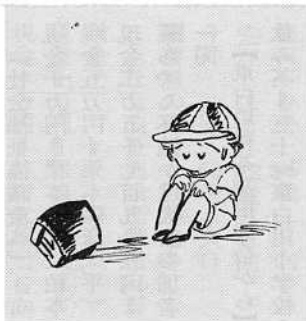
【いきなれんか】行きませんか、行きましようかと優しく相手を誘う言葉で、これも女性が多く用います。

【いきやあ】行けば。「行きやあええやないか(行けばいいでしょう)」とやや荒っぽく、冷やかな表現です。

【いきやあける】行けば行ける、という意で、「道や悪うても行きや行ける」など使用します。皮肉や捨て鉢的な感じを受ける言葉です。

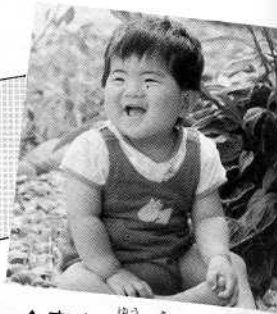
【いきやがれ】「行け」を卑しんでいう言葉です。汚い言葉ですが、全国に分布します。

【いきやせん】「いきやへん」ともい、行かない、行きはしない、という意です。行かないことに何か訳のある暗い気持ちのこもる言葉です。(以下次回)



(昭信さん・佐和子さん長男=陸地)

▼松岡裕介くん



▲安江優貴くん
(良浩さん・こず枝さん長男
=下親)



みんなが

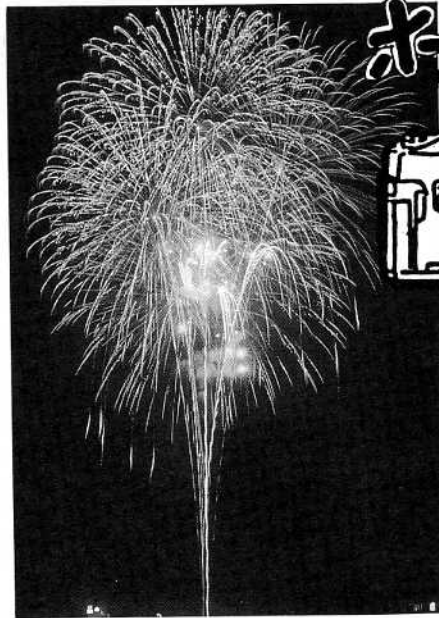
力を合わせれば

「カンパイ!!」口々に叫んで、美酒に酔いしれ、十四日の夜は更けていくのでありました。という具合になりました。とやら。あつ

は「ふるさと夏まつり、ザ・五介」実行委員長の桂川一喜です。

おなじみになった

夏祭、昨年は三年目のリンクスをスタッフの努力で無事のリ切り、さあ四年目の今年も



夏の風物誌

夏の夜空を彩る花火。その歴史は、古く鉄砲伝来の頃だとか暑さも吹き飛びそうです。

と思つたまではよかつたですが、前年大成功したプレッシャーの大きいこと、大きいこと。それにもめげずスタッフは、昨年以上の素晴らしい祭典に、と息込んで取り組み、打ち合わせや準備も連日連夜に及び、十四日が迫るにつれ皆へとへとに疲れて

います。しかし、「何とか来ていただいたお客さんに満足してもらおう」とスタッフの心は一つ、今日も疲れた体にムチ打っています。

古い考えかもしれませんが、一つの事に対して、皆が力を合

わせやり遂げたときの喜びは、何物にも代えがたいと思います。この広報が発行されるのは、十五日ですから、すでに祭典は終わっています。結果が成功か否かは、別問題として、スタッフに出会ったら「お疲れさま」と声を掛けてあげてください。



8/4 国道ぞいに看板設置

働くお年寄り 我が生涯 これ一筋 床屋

今年七十八歳になられた安江奎一さん(宮代)が、床屋を志して、名古屋へ修行に出たのが、十五歳の時だったそうです。床屋一筋六十三年目に入ったわけです。

農家の五人兄弟の末っ子として生まれた安江さん、「当時はこの辺の者は、なかなか大きな工場などへ入れなかつた」とおっしゃるようになります。そこへありあらずでした。そこで「何か手に職を」と思い付いた仕事

が、床屋でした。安江さんが、床屋になってこのかた、一番の思い出と言えは、何と言つても修行時代だそうです。

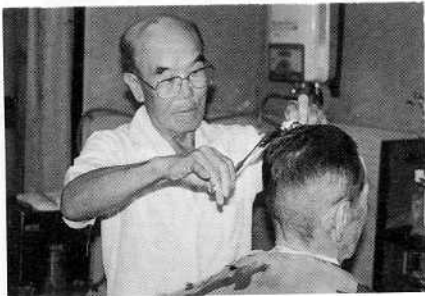
「とにかく親方は、お客第一に考える人だったので、朝飯抜き、昼飯抜きなどしょっちゅうで、朝も早くから夜遅いときは、一時二時までお客があり、それでもタオルなどの洗濯は、その

日のうちに済ませなければなりません。また、盆・正月は、稼ぎ時で休みなど全くなかったことを覚えています。」とにかく厳しい修行時代だったようです。

村へ帰ったのが、昭和二十年。帰つてすぐに終戦を迎えることとなりました。その後、現在の場所まで床屋を始めたわけですが、その頃五加に一軒も床屋がなかったこともあって、「名古屋帰りのモダンな床屋」の評判で大繁盛したとのこと。

現在も常連のお客さんが月に二十五から三十人は、訪れています。

「くよくよしない」がモットーの安江さん、今日もハサミの音が心地よく響いていました。

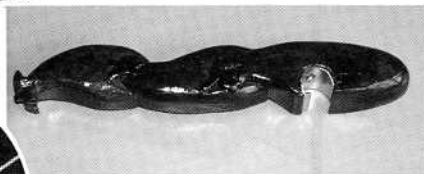


職人芸が冴えます

わたしの作品



▲「野菜栓抜き：ねぎ」
安江千夏さん(上親田)東白川中学校3年生



▲「野菜栓抜き：なす」
今井麻里さん(下野)



▼「あんぱんまんといびちくもり」をよんごうけつあきなちゃん(柏本)五加保育園



広報文芸

●短歌

○病床の目先へ降りてきて吾が咳に驚き乍ら戻りゆく蜘蛛
早瀬 勇造

○日を追って復調目覚し吾が氣力称へてくる看護婦ありて
安江 幸

○昼休みの十五分間の「君の名は」に名残惜みつつ仕事にかかる
安江 香

○着物より本の虫よと叱られし娘の頃よき書に出逢いたかりし
小池きぬゑ

○濁流の川を見降りし釣人は帰るともせず暫したたすむ
安江 節子

○抑留者の名簿よみつつ眼はうつむ活字の細かき故にはあらず
安江と志江

○折々の雨にうたれて紫陽花の重き花首うつむけて咲く
安江 龍玉

○かそかなる風に揺れぬる弥次郎兵衛なつかしき反り身のふるる
今井 かな

○露ふかき梅雨の川辺に釣人の竿も柳もしとど濡れをり
三戸 きり

○今年再一人暮しのペランタの砂箱の中に鈴虫生るる
田口 一枝

○火葬場にあがる煙の黒くしてやがて細々と空へ消えゆく
田口 ちよ

○毎年につかき来る先生は今年もえもの身内をしのぐ
安江すみよ

○朝夕に去年に買入れし按摩器を使って働く身をばいたわる
安江 守平

○田も畑も草に荒して百姓はくらしの立つると勤めに出する
小池 弘子

○ほろほろと河蛙啼く夜は更らぬだにあへなく逝きし友の偲はる
安江とくよ

○雷鳴に小さき手をば腹に当てへそよへそよと逃げる孫らは
早瀬 久子

○雲仙の自然の猛威を画面に見つ平凡な明暮れを思ふ
今井 米子

○座土を恋しがる姑の枕辺で黄泉へ近づく氣配を感ず
若井 信江

○根元みな砂に埋もれ挿木せし如き香良洲町の松原歩む
安江 澄

○自動車の往來激しき道端に老いし身煽られつ花を植へ居り
伊藤 美枝

○北海道より子の名でワイン届きたり黒ばに似たピンはなで肩
伊藤 重雄

あなたの作品をお寄せくださいー初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します●偶数月の二十日までに神戸伊藤重雄宛に出して下さい。

こぼれ話



今年も中学校の郡体育大会が七月の終りに開かれたので、親として女子バレーボールの応援に行ったが、東白川中のすばらしさを再確認した。

こう書くと今年の成績は非常に良かったように思われるが、そうではない。

今、どの中学校も体育系部活動に力を入れており、技術的にもレベルが高くなっているようだ。さて試合だが、二勝二敗の中で私感動したのは、敗けて涙をぼろぼろと流しながら、くやしがり、勝ってまた、涙を流しながらチーム全員が喜んでる姿を見た時だ。

もっと感動したのは、ベンチに入れない一年生二年生が涙をふき、目をまっかにながら、応援している姿であった。

当たり前のことと言ってしまうえばそれまでだが、今の子供は喜びや悲しみの表現力が少なくなったと聞いたので、他の学校の生徒たちと比較してみた。

すると、みんなものわがりの良い生徒ばかり、勝って当然といった顔、やはり敗けたと思っている顔の多いのびっくりする中で、東白川中の生徒たちの態度が新鮮に写った。

東白川村の村ぐるみの青少年の育成、また学校での生徒指導の中で、お互いにいたわり助け合う心が、生徒たちに浸透していることを、この目で確かめ、久さしぶりにすがすがしい気持ちで帰路についていた。